# 京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎

京城西署西小門通(電話六六三)

發行所 京城新報社


雜録

## 鯨屋伊右衛門翁の鯨談(終)

(五二)捕鯨會社創立の苦心 三十一年頃山口縣に日本遠洋漁業會社即ち前東洋漁業株式會社が前身の成立つ前に發起人が縣下の有志を勸誘する時は非常の苦心をしたもので、今日の樣に新式で鯨を捕獲る實況を實地に見る機會は無く、其上に不幸にも、當時の經濟界が不振であつたので、ヲイソレと株式に應ずる景氣も無いから、一時毛利公の手元金でも借出して、創立して見やうと云ふので、主唱者の連中が會計元締の杉孫七郎と云ふ老人を訪ふて、捕鯨會社創立の爲め、資本の一時借入の事を相談したら、ソンナ事で鯨が取れたら、乃公の白髮首を遣ると云ふ御挨拶に、痛入つて引下つた樣な譯で相談の的は死落離と外づれ、一旦は失望したものゝ、夫が却つて興奮を與へて、翌年會社は見事に成立して、創立以來鯨の合計二千頭以上の多數を捕つて、今では白髮首一つ位では追付かない事に爲つた。

(五三)鯨は本開國の主因 舊い事をいふ樣だが嘉永六年米國のペルリ提督が日本に來て鎖國の夢を破つて以來、始めて今日の開化を見たので、提督派遣の主因は、其頭米國で鯨獵が盛んで捕鯨船は太平洋を住處として居る鯨を追ふて日本の金華山沖迄來たものであつた、處が弘化三年二隻の米國捕鯨船が暴風に出會つて日本の沿岸に漂着した事があつた、幕府では二隻の乘組員を丸で罪人扱で數ヶ月間牢屋に押込んだ揚句の果、ヤッと米國に送還した、コンナ事から、米國政府は自分の國の漁民が此後復とコンナ災難に遭はぬとも限らないから、捕鯨業者の保護上から丁度六年目に、ペルリ提督を日本に差向けて條約を取換はさしたので、日米間の親和は謂はば此鯨が媒介をした樣なもので、日本國民はペルリ提督の高德を感謝すると同時に鯨の恩を忘れてはならぬ、直接捕鯨の爲に利益を得て居る捕鯨業者に、鯨の爲め紀念碑の一つ位は建てゝも好い筈である。

▲本邦古來の捕鯨數 捕鯨志に記載せる本邦古來の捕鯨頭數を摘記すれば弘化二年より萬延元年に至る十六年間壹岐國鯨組の捕獲高通計六百二十三頭にして、元祿十一年より明治二十一年に至る百九十一年間長州川尻捕鯨場の捕獲は脊美二百九十四頭、座頭九百五十八頭、長須二百七十七頭、克二百八十頭、小脊二十四頭、鰮鯨一頭、不詳七百一頭、總計二千五百三十五頭也、又明治十五年より同廿四年迄十ヶ年間本邦沿岸の著名なる網式捕鯨場は長崎縣五島捕鯨會社、平戸捕鯨會社(十六年より)柏浦捕鯨會社(廿四年より)高知縣浮津捕鯨會社、津呂捕鯨會社、山口縣川尻組、通祥組、立石組(二十二年より)黃波戸組(十九年より)福岡縣大島捕鯨株式會社(廿一年より)扶桑海產會社(二十三年より)佐賀縣小川島捕鯨會社の十二にして其捕獲頭數及賣揚價格の總計左の如し

| 年別 | 捕鯨頭數 | 總價格 | 一頭平均價格 |
|---|---|---|---|
| 明治十五年 | 一二四 | 一五九、四九九 | 一、二八六 |
| 同十六年 | 一三五 | 一三三、八五〇 | 九二八 |
| 同十七年 | 一四三 | 一三三、八六六 | 七九九 |
| 同十八年 | 一三七 | 一〇九、六四六 | 八〇〇 |
| 同十九年 | 一六九 | 一一四、七五九 | 六七九 |
| 同二十年 | 一九四 | 一六〇、〇二三 | 八二四 |
| 同廿一年 | 一七六 | 一六二、九九〇 | 九二六 |
| 同廿二年 | 一四八 | 一七二、一八〇 | 一、一六三 |
| 同廿三年 | 一三三 | 一五〇、五七八 | 一、一三三 |
| 同廿四年 | 一四七 | 一八〇、三九八 | 一、二二七 |
| 合計 | 一、四九六 | 一、四四五、七七八 | 平均九六六 |

此の表中の捕獲數には前掲長州川尻の十五年より二十年迄の捕獲數百二十七頭が加入せるものと知るべし、而して一頭の平均直段が現時に比して小額なるは貨幣本位の差より生ずるものにして現今の貨幣を以てすれば表中の平均價格に倍數を乘ずれば大差なし(了)



## 海軍勢力の補充案

列國造艦計畫の大勢を照せば我海軍に於ても既定計畫のみを以て滿足すべきにあらず此際新に何等かの補充計畫を立つるの必要あるは朝野共に異論なき所なれども唯財源の關係に於て意の如くならざるものあり過般來海軍大藏兩當局の間に折衝中なりしが此頃に至りて補充案の大綱漸く定まり數字上の詳細も亦近に決定さるべしと云ふ而して聞く所に依れば海軍當局の主張せるは可成り厖大の計畫なりしも大藏當局は既定の財政計畫を變更することを欲せず財源の現況に就き詳細の說明を試みたる結果海軍當局に於ても其說明を諒とし補充計畫の縮少を承認するに至れりと去れば海軍勢力補充案の二十七議會に現はるべきは勿論なるも其程度は既定財政計畫に於ける財源剩餘の一部を以て支辨することとし尚ほ當初より繼續事業となさずして四十四年度の豫算には取り敢ず一年度限の經費を要求するの形式を採るべしと云ふ

## ●日露戰役の救恤金

日露戰役個人損害救恤金は第二十五議會に於て一百萬圓支出の件を議決したるが第二十六議會に於て其の救恤範圍擴張の建議ありしも政府の反對ありて貴族院に於ても之を否決したれば同救恤金委員會は第二十五議會通過當時の趣旨に從ひ之を審査し申請書千七百通中既に千通を調査し了り殘り七百通も七月中には審査を了る方針の由にて其上にて百萬圓の救恤金を按分比例にて振當つる筈なりと

## ●長沙事件交涉經過

長沙暴動に對する損害賠償問題の經過は日本の態度の穩和なる爲め兩國の交涉至極圓滿にして最早大體の點に就ては兩國の意見一致せる由但し償金額は長沙領事にて調査したる上外務省の認可を受く可き筈なるが未だ其の運びに至らざるも之もすら〳〵と濟むべき樣なれば遠からず此問題は無事に落着すべしと云ふ

## ●臺灣討蕃隊の苦戰

內務省着電に依れば臺灣隘勇線宜蘭討伐激戰の模樣に就ては其後詳細の報道に接せざるも二十一日午前一時よりの夜襲に引續き昨日は終日激戰を續けたるものゝ如く之れが爲め敵勢稍々衰へたるに似たり而して我軍の損傷亦甚だ大にして警察部隊側を除き軍隊側のみに於ても第一聯隊の第七中隊長大尉川和田庄一、同中隊附少尉野澤虔三、同藤澤八郎は戰死し第六中隊長大尉藤崎猶一、同中隊附中尉神保万兵衛は重傷第二大隊副官北村中尉輕傷、又下士戰死者二名、上等兵以下戰死者二十名又負傷者上等兵以下四十四名に達し猶ほ警察側に於ては容易ならざる死傷者を出せるものゝ如し

## ●落月島の最近事情

木浦警備所の調査に係る落月島の事情を聞くに▲位置 同島は木浦を離るゝ西北約四十五哩の所にあり上下二島より成る▲人口 上落月島は周圍一里にして韓人戸數九十五戸人口三百五十二名(內男二百一名女百五十名)にして下落月島は周圍三十町韓人家屋七十五戸人口三百二名(內男二百十名女九十名)なり▲產物 同島の主要產物は海老にして島民は之に依り渡世す上落月島一ヶ年の產額約四千圓同下島三千六百圓內外なり其他本島の產物としては上島に於て麥一年四十石粟六石豆十五石又下島に於て麥三十五石粟十五石豆五石を產すと云ふ▲宗教 宗教として記すべきは神興殿と稱する韓女上下兩島に各一名宛在住せるのみ

## ●楊州郡地方の不穩

二十五日漢城財務監督局主事坂井有親氏外三名は楊州郡屯夜面海等村にある國有地百三十餘町を調査測量中同地の人民約三百名は韓政府の南方に集合して該地は民有地なるに拘はらず國有地として測量するは不當なりと主張し主事等は該同地は百四十年前より國有地臺帳に登記しありと主張し互に確執して一時測量を中止するの已むなきに至らんとせるを議政府分遣所の憲兵は面長里長等を召集說諭し解散せしめたり

## ●廣梁灣の現狀

豫て廣梁灣鹽田出張中の赤倉書記官は廿六日を以て歸任したり今同氏の話に據れば目下同鹽田工事は第四第六兩區三百町に亘る大鹽田の堤防築造最中なるが不日落成の筈只今の處人夫は韓人夫約三千清國苦力千人なるも工事の盛期に入らば尚二千有餘を增加すべし同地現住者は日人家族共七百人他韓清人を合せ約六千人に上れり爲に飲食店の如き却々盛にて十數軒の料亭は客の送迎に忙はしき樣子なり其他學校組合設立以來就學兒童二十人を出せり同鹽田は來年を以て全部竣工の豫定なるが愈落成の曉には勞働者は全部退散し人口數に於ては著しく減少すべきも健全なる一市邑として發展すべきは疑を容れず尚ほ前般の清韓人夫の鬪擾に就き大業に傳へられしも事の起りは一清人が韓人畑に放尿したるが本にて是に多くの彌次馬連の助勢にて一時火の手は揚りしも憲兵巡查の盡力にて多數の怪我もなく落着せしは倖なりし以後人夫に對し嚴重なる戒飭を加へし上今や三個所駐在所の設置を見たれば再び爭擾を釀す如き事は萬なかるべしと信ず云々(赤倉課長談)

## 俳句

◎夏(植物)五句　多田千春

坂越せば役場も見ゆる茂り哉
芍藥や獨り詫び住む女畫師
邪魔な程藻の花の咲く釣場哉
蓮咲いて聞くや和尚の長談義
杜若架けたる橋は長からず

## 講談

### 大岡政談 越後傳吉 第八回　旭堂南陵講演

傳吉は兎も角女二人を遣して行くのですから、甚右衛門と三右衛門の二人に相談して置てと思ひ、早速甚右衛門の家へ來ました 傳「御免下せゑ 甚「イヤ御座つたかのう小旦那、さアどうか上らつせいよ 傳「一寸お話し申しに參りました 甚「アヽそうかい、何でがす 傳「エヽお母さんとお梅と私どの間に相談が出來まして此所で稼いで居たところが仕樣がないから、江戸へ行つて一稼ぎしやうと思ふでがす、三年と四年の間江戸で何所へか奉公して來やうと思ひます、どうか不在の間は女ばかりでございますで宜しうお願ひします 甚「エッ小旦那、何かへ江戸へ稼ぎにござる…… 傳「ハイ 甚「アヽさうかい、いつお立出なさるので 傳「ハイ翌日の朝立つことになつて居ります 甚「そりやア何うも、折角江戸へ稼ぎにござらうといふのを、私等が廢さつせねといふのは先きを折るやうで濟まねへが、コリャ見合せた方が宜いやうに思ひますがのう 傳「でございますが、お母さんも不在の間は働くさいつてくれますから 甚「そりやアお前樣のお母さんのお梅どんがお前の江戸へ行くのを制止る氣遣ひはねゑが、私等にはよう分つて居ります、アヽ困つたことが出來たな、どうも餘り小旦那が人が良過ぎるもんだから仕樣がねゑのう、併し江戸へござるといふものをば私等が制止る譯にも行きましねへた、マア氣を注て御座らつせるよ、お健康で金儲けをして無事に歸つて御座らつせねよ 傳「ハイ、有難うございます、どうか不在中は…… 甚「ハイ、不在中には私等が別に引受けんでも確かに引受ける人がございませう、イヤ及ばずながらも折々お尋ねをしますから」甚右衛門もそれと判ってはいふことが出來ない 甚「さては江戸へ追拂はれるんだわい」と思つたがこれも仕樣がない、三右衛門の方へ參れば矢張りその通りの挨拶振り、翌日は夜の明けぬ中にコソ〳〵と支度をした、道中の路銀といつたところが多分あるのぢアございません、ホンの木賃宿へ泊つて江戸まで一杯といふだけの路銀、お母やにお梅の二人が漸く送り出して來た はや「ぢやア傳吉どん、どうぞ氣を注けてお行でよ、水變りがないやうにね、早くマア金儲けをして戾つて御座るのを祈つて居りますから 傳「お母さん、お前樣どうぞ身體を大切にして下さいまするやう、ナーニ私等は健康な身體だから安心して下さい……お梅やお前も身體を大切にしてお母さんを大切にしろよ、宜いかい 梅「アヽ傳吉どん宜いわい、江戸へ往つて來てたくれよ、金をドッサリ儲けなきやアならぬから、傳吉どん綏り行つてたいでよ 傳「アヽ成るだけ早う戾つて來るから……それぢやアお母さん御免」追拂はれるとは知らない傳吉がその儘村を離れました、後を見送つたお梅 梅「お母ア、厄介拂ひをしたね はや「何だねへ、大きな聲をして 梅「マア傳吉が居なくなつたら、庄藏さんと妾ア晝だつて夜だつて思ふやうに樂しめるわ はや「お前餘りなことをするとね、又村の奴が蒼蝿いから 梅「ナーニ宜いわね、庄藏さんは探偵だもの、ナニ愚図々々いふものか、庄藏さんや、庄藏さんのお父樣に頭の上る奴はありやアしない、アヽ嬉しいわ之で氣が晴々した」と二人の淫婦はそつと笑つて踞る、正直一図の傳吉は足に任してドシ〳〵歩き、丁度その晩が鞠山泊り、宿へ入つて來るとタッ〳〵と駈出して來た小娘、漸う年は十五六ぐらゐ、垢染んだ衣服を着て、頭の手入などはすッパり出來て居りません、窶れた姿、なれども天然の美貌、殊に愛嬌のあるのはこの子の持前と見えます 娘「お客さん 傳「ハイ 娘「お泊りなら妾等の方へお泊りを 傳「ハイ、私等はうんな……その立派なところに泊るやうなものではがアせんので…… 娘「どうかさういはずと泊つて下さい、お願ひでございますから妾の家は彼所でございまして」指を指されたからヒョイと見ると、黑く燻つた行燈に泉屋と書いてございます。

## 公告

本會議所議員定期半數改選ノ爲メ本月三十日左ノ時刻ヲ以テ選擧施行候條此段公告候也
但シ投票用紙ハ當日選擧會場ニ於テ交付ス
明治四十三年六月二十五日
京城日本人商業會議所
會頭 中村再造
選擧會場 京城日本人商業會議所內
各級選擧時刻
一級 自午前八時至正午十二時
二級 自午後二時至同四時

# 東京電報

## 拓殖事務訓示

拓殖局總裁は本日臺灣、樺太、滿洲、韓國各政廳に對し拓殖事務長に就き訓示したり（廿七日）

## 旅順港開放期

旅順港は來七月一日より實施に決す（同）

## 日糖被告假出獄

日糖被告長谷川豐吉は本日假出獄を許さる（同上）

## 副統監の出發

山縣副統監の一行は本日午後三時四十分出發赴任の途に就かれしが朝野の見送り非常に盛なりき（廿八日）

## 拓殖局の通牒

拓殖局は今般臺灣樺太關東州所管地に對し官制改正の結果當然從來の監督官廳を離れ爾今本局所屬となるべき旨通牒を發したり（同上）

## 內國生命危機

內國生命保險會社は豫て主務省の整理命令に基き早川氏社長となれるが舊幹部、歩々妨害を爲すため主務省は再び整理進行の嚴命を發せり同社は頗る危機に瀕す（同上）

## 日露協約と韓

近々公表さるべき日露協約中特に韓國の事項なきは明かなり右はポーツマス條約に於て吾が優越權を承認したる爲めなり（同上）

## 六三問題形勢

法律第六十三號即ち臺灣立法權問題は政府部內に於ても多少の異論あり然れども拓殖局設置の結果臺灣に限れるものは廢止され更に韓國樺太臺灣共通の制度を設けらるべく察せらる唯だ其形式が立法權の一部に[illegible]（同上）

## 長官出發延期

有吉總務長官は山縣副統監と同行赴任の筈なりしも病氣の爲め出發を延期せり（二十八日）

# 奉天電報

## 馬賊兵舍を燒く

東清鐵道沿線は馬賊の横行盛んにして去る廿六日韓國兵舍を襲ひ兵舍を燒棄したり[illegible]

## 拓殖局移轉準備

拓殖局は目下其事務所を大藏大臣官邸に移轉せしむる準備中なり該移轉と共に從來內務省樺太臺灣課に屬せる課員全部は同局に移轉勤務せしむべしと

## 統監府豫算の調査

明年度統監府豫算は目下統算の調査中に屬する由なるが韓國統治の樣式に今後一展開を見るとしても其の稍々細部に關するものに至りては未だ確然たる方針を定め難きものあるを以て新統監赴任の後ならでは成案を見る事能はざるべし然るに豫算の編成は法規上一定の[illegible]豫算遲延の爲め累を[illegible]慮り大體に付き[illegible]涉を遂ぐる事となり[illegible]電軍の經費は之を統[illegible]るべしと主張するも[illegible]文の認めざる所にし[illegible]は多分從來の如くなるべしといふ

## 滿鐵と柞蠶事業

[illegible]滿洲に產出する柞蠶繭[illegible]模の柞蠶絹絲製造業[illegible]目下之れが着手中に[illegible]は啻に內國の同業を[illegible]を造るに止らず邦人の企業を醒斷するも[illegible]擧を發する者あり之[illegible]事は語りて云く滿洲[illegible]出は頗る盛にして年[illegible]の大部分は歐洲に輸[illegible]て將來頗ぶる有望の[illegible]資本家中未だ之に着[illegible]查研究に着手するも[illegible]進んで大連の中央試[illegible]績を調査せしめつゝ[illegible]に日猶ほ淺くして試[illegible]なる今日なれば將來[illegible]るや否やの如き勿論然るを今遽かに其の斷を下さるゝ如きは[illegible]りと語れり

## 警備船と各嶋嶼

南韓地方の各島嶼は到る處恰當の漁基[illegible]に來集する支那漁船[illegible]を以て算せらるゝが[illegible]來彼等の來集は密漁[illegible]取締嚴重なるのみな[illegible]配備して一層之を嚴[illegible]殆んで其影を屏めて[illegible]れり然るに島嶼所在[illegible]は頗る奇異の感を[illegible]より得たる利益を[illegible]は多少の苦情を耳に[illegible]の間斷なく各島嶼を[illegible]其他の方法を以て彼[illegible]爲め孰れも之を德とれり

## 沿岸施療益々好況

[illegible]熊野[illegible]海上警備の傍ら[illegible]各嶋嶼沿岸に於[illegible]施療投藥しつゝあるが其結果は益々韓人[illegible]あるものゝ如く又彼[illegible]に第一回に於ては多[illegible]るものゝ如き第二[illegible]殆んど隔意無きが如く開設以來未だ日淺きを以て多島海の沿岸島嶼に未だ悉く施療するに至らざる位なれば第二回目の巡回を爲したる個所は極めて少く更に第三回の施療巡回は未だ見ざる處なるが現に數日前第二回施療として珍島に向ひし時の如きは既に過般松井木浦署長より發したる告示の趣旨彼等に徹底し居たるものと見え其來島を悅びて來り迎ふるもの二百名の多きに達したる位ひにて遂に藥品を施すに術無くして歸所せし程なるが此模樣にて二回三回と各地に及ぼす時は豫想外なる好結果を見るを得べしと云へり尚同警備船は近々智島に向ひて第二回の施療巡還を爲す豫定なりと

## ●間島二重課稅撤廢

間島龍井村より會寧間の通路に當る新興坪（龍井村を距る六里餘）に昨年來淸國にて民稅局を設置し淸韓人の輸出入貨物に對し課稅を爲し居りたるが本年三月頃に至り日本人の輸入貨物に對しても同樣課稅を爲さんとしたるを以て永瀧總領事は海關道に對し本年一月間島に淸國稅關設置後は輸出入貨物に對して課稅を爲すには彼地に於て徵稅を爲さば二重課稅なるに依り其の交涉を爲し本邦人の貨物には課稅せざることゝなりしも寧ろ同稅局を撤廢する方至當なる旨同地稅關長に交涉の上地方官に說かしめたるに今回該局を撤廢する旨通知ありたりといふ

## ●官制改正と罷免者

官制改正の發表と同時に現任の大小官吏に異動あることは勿論なるが今其罷免せらるべき日人官吏の標準を聞くに改正に伴ふ廢官の結果當然罷免せらるゝ者は姑く措き繼續せしむる官吏の人選は不正官吏例へば奸商と結托して脫稅を圖る輩の如きは此際遠慮なく放逐する筈にて其筋にては過日來官吏の平生に於ける行動を內查中なるが奏任官中にて既に數名の證跡を押へたりと云ふ

## ●學徒等の秘密結社

時局の進行に妨害を企てん目的を以て此頃銀契團と稱する秘密結社成立せりとの噂あり今其手段及集合所の那邊に在るかは茲に記述するを得ざるも其系統は西北人を中心とせるものにして實行の衝に當るべきものは普成學校の學徒を主なるものとし之に雷同せる龍山同地出身の大韓醫院所屬醫學校及農商工部工業傳習所の學徒なる邪丈けは確かなり而して近く其根底を剔抉され一網打盡さるべしといふ

## ●拓殖局と韓國課長

拓殖局は第一第二兩部の下に第一第二の兩課を分設し外に總裁官房に文書課秘書課を置き都合六課となし波多野書記官以一部臺灣課長を命せられ第二部韓國課長は江木部長心得勤務となり文書課秘書課は秘書官兼務とし事務所は內務省分室より大臣官房に移轉せり

## ●警務總監部の官制

統監府警務總監部に關する特立官制は一兩日中に發表さるべきが同部は憲兵隊司令部との執務聯絡上同一建物內に設置するの便宜なるを認め元京城憲兵分隊に使用したる廳舍を之れに充つる事に決定し居る由

## ●鐵道用地賣買禁示

龍山元山間、太田木浦間に於ける鐵道用地は內部告示を以て賣買を禁止せられたるが但し已むを得ざる場合には漢城府尹又は觀察使の許可を受けて賣買することを得る旨統監府より告示あり

## ●統監府の部室變更

今回副統監及總務長官一行來着登廳に就ては從來副統監室の設備なかりしを以て總務長官室を副統監室現文書課の公報係室を總務長官室に宛つる事とし其の他室課變更されたり

## ●參與官の定例會議

二十八日午前十一時より統監府に於て參與官會議例會を開きしが出席者は石塚、小宮、俵、倉富、國分の各參與官鈴木、菊池、池田の各局長なりき

## ●道掌賜金公債發行

度支部は去る二十七日告示第七號を以て道掌賜金公債金十一萬六千八百二十五圓を額面價格を以て發行せり

## ●砲兵隊の發火演習

來る三十日午前三時より野戰砲兵第二聯隊第六中隊は普光里附近に於て空砲發火演習を擧行する由なり

## ●定例大臣會議休會

二十八日開かるゝ筈なりし大臣會議は都合により休會したり

## ●京城憲兵分隊移轉

憲兵京城分隊は廿八日大和町憲兵隊正門左側の元憲兵隊本部跡に移轉せり

## ●仁川出入の船舶

仁川に於ける一昨二十七日の入港船は解纜丸を初め櫻井、安東、筑後川の四隻（上陸男四八女一三）にして出港船は日高、安東、筑後川の三隻（乘客男一〇三女一五）なりと

## 國境の經濟事情

（三島韓銀理事談片）

▲最近の安東縣　冬期結氷時は眠るが如くなる安東縣も解氷に到れば拂曉の市場を見るが如く車馬絡繹往來肩摩の盛觀を呈するを例とするが本年は特に安奉線改修工事の爲めに戰後未曾有の活氣を示めし搗てゝ加ふるに近頃は大豆、豆粕又は柞蠶の出廻り盛んなるより一層の好氣配なるを認む現に一時は全市空家を以て充され居りしが春來數千の勞働者踵を接して渡來し次いで又多數の商估店舖を張るに到れる爲めさしも寂寥を極めたりし同新市街も戰爭前後の壯觀を再び現出するに到れり

▲同地の大豆豆粕　滿洲唯一の大產物たる大豆、豆粕は今や世界的商品の數に入れるが是を營口若くは大連に比すれば同地を經由する時は其價格非常に低廉なるより自然人氣を吸集して本年の出廻りは寧ろ稀有の盛況なり然れども此盛況は過渡期の一時的現象にして安奉線改修工事竣成せば彼我各地の市價統一せられ到底今日の盛時を再び見るを得ざるべきか

▲同地の柞蠶事業　同地方は柞蠶の名產地として注目せしが產額亦冠絕す然れども養殖の方法及製絲の計劃酷だ幼稚にして其名の高き割合に其實之に伴はざるの憾みあり之が爲めに同地在留二三の邦人中其前途の有望なるを著目し既に着手中のものあり若し吾が邦人の手により改良の實を示めすを得ば啻に邦人發展の爲めのみならず同地方の開發上稗益尠からざるべし

▲淸韓の金融關係　鴨綠江沿岸に於ける淸韓關係は世人の知る如く彼我特に密接の間に在りて殆んど外國的關係を見ざる程なるが唯だ韓國は原料を供給し淸國は之を加工して再び韓國に輸入するの有樣にあり又貿易上より見るも西韓の物資は總べて安東縣より吞吐せられつゝあり故に西韓地方は支那の庇陰に負ふ處尠からざるより金融關係の如きも支那貨幣盛んに沿岸地方に流入し混沌たる其有樣實に意外の感なきを得ず云々

## 全韓の稻作豫想

昨年來旱害續きにて地方にて饑饉に苦しめる土地も多けれど本月に入りてより屢々降雨あり水量も多かりし爲め稻の植付けは滯り無くなす事を得農業家は愁眉を開きたるが本年は韓國を通じて天變地異の無き限り豐作の見込みなりと農務當局者は語れり

## ●全北品評會の成績

去る三月十八日より二十七日迄十日間開催せる全羅北道物產品評會は過日褒賞授與式を擧行せるが今其成績報告を聞くに出品點數千三百三點外に參考品五百十四點にして之を種別すれば農產物千百七十九點工藝品百二十六點とす尚ほ出品人は七百六十八人にして受賞點數六百九十二點を算し之を等別すれば一等十三點二等三十三點三等八十二點四等五百六十四點なり更に參觀人は九千八百十八人にして一日平均九百八十一人なりしと

## ●全南沿岸の大漁獵

全南沿岸法聖浦九水浦附近の石首魚、鯛、鰆の漁獲は本年度殊に豐漁にして漁夫等の言ふ所によれば十年以來見ざる所なりと來集漁船は日本五百餘艘韓國二百餘艘に及び韓漁船は全羅は元より慶尚北京畿平安南北道より出漁し各漁獲純益日本側一艘平均五百圓韓國側一艘平均八百圓以上に達したるの好況なるにより各自歡喜し居れるが從つて長煙管を廢して卷煙草を喫し或は美服を身に纏ふの弊風を生じ居れりと

## ●韓銀貨幣發行週報

一、銀行券總發行平均高（自六月十九日至六月二十五日）　一三、二六〇、四二九
　內正貨準備發行高　五、三四六、五〇〇
　保證準備發行高　七、九一三、九二九
二、銀行券平均手許有高　九〇九、七八五
三、銀行券市場平均流通高　一二、三五〇、六四四
四、硬貨發行額（六月二十五日現在）　六、四四一、四三〇

| | |
|---|---|
| 內 金貨二十圓 | 一、八五〇、〇〇〇 |
| 同 十圓 | 五〇〇、〇〇〇 |
| 同 五圓 | 五〇〇、〇〇〇 |
| 銀貨五十錢 | 九三〇、五〇〇 |
| 同 二十錢 | 一、五一三、〇〇〇 |
| 同 十錢 | 一、〇六三、五〇〇 |
| 白銅貨五錢 | 六二七、〇五〇 |
| 青銅貨一錢 | 二七六、五一五 |
| 同 五厘 | 八〇、八六五 |

## ●龍山に發電所新設

日韓瓦斯電氣株式會社にては現在東大門及龍山の二箇所に發電所を有し電車電燈及其他の動力を供給し居れるが兩所共發電機陳腐にして石炭の費消のみ多きを以て此際龍山瓦斯製造所に發電所を新設し最新式の器械を据付け之が完成と同時に現在の兩發電所は之を廢止する筈なりと云ふ

## ●全北地方挿秧終了

全羅北道は昨年來旱害を蒙ること最も酷しく群山に近き所にては一万五千町歩余植付けを爲し得ざる所さへ有りしが本年も旱魃の模樣にて農家は苦慮せる折柄去る二十五六の兩日大雨ありし爲め全道無事に植付けを了し農家は蘇生の思ひをなし居れりと

## ●大集團の淸密漁船

群山港沖大旺島附近に於て二十三日朝淸國密漁船約五六十艘現はれたる旨群山水產組合支部より木浦同支部に打電ありたるに就ては同支部にては即刻木浦警備所に急派捕獲方を願ひ出でたるが同所にては其警備船既に同方面に出動せるに付相當手配を爲したるよし

## ●開城日本人評議員

開城日本人會にては去る二十五日評議員選擧を行ひたるが左の諸氏當選せり
久野傳次郎、石橋新、岡本豐喜、中村勇之助、古賀幾治、直野市五郎、白見卯三郎、久保田新三郎、圓山機藏、吉岡一作、鹿野新太郎、戶次傳五郎、今福又三、笹原乙治

## ●岡喜七郎氏の來着

內部次官より鳥取縣知事に轉任したる岡喜七郎氏は二十八日午前八時四十分南大門驛著松井、菊池、俵、市原の諸氏朴內部大臣其の他文武官民多數の出迎を受けて入京せり氏は宇佐美新任內部次官の着任を待ち事務の引繼を了したる上來月八日頃出發すべし

## ●宮原正久氏の來京

基督教牧師として有名なる宮原正久氏は來る三十日來京し旭町四丁目の教會にて七月一日より四日間說教を爲すと

## ●三浦理事官の歸期

三浦京城理事官は二十八日朝連絡船にて釜山へ到着し馬山へ廻航せる由なれば歸任は明二十九日晩ならんといふ

## ●韓昌洙溫陽に行く

廿六日を以て日本より歸來せる內閣書記官長韓昌洙は二十八日溫陽に至り李完用氏に面會し委細復命したりと云ふ

## ●龍山居留民會開會

廿九日午後一時より龍山民會開會せらるべし議案は民團基本金流用の件なり

## ●澤田地方局長歸任

東上中なりし內部地方局長同氏は岡前內部次官と同道二十八日歸任せり

## ●西平判事の入京

昨二十八日午前零時五十分大邱發の列車にて西平平壤地方裁判所長南大門驛着入京したり

## ●濱田大尉の來京

仁川に一昨二十七日大連より入港せる筑後川丸にて步兵大尉濱田貞精氏來着入京したり

## ●庵原課長の歸京

西海岸に於ける漁況實視の爲め出張中なりし庵原漁政課長は去る二十七日夜歸京したり

## ●本田博士の入京

二十八日午後零時三十分本田農學博士水原より入京す

## ●鷄尾技師の歸任

二十八日午後十時九分鷄尾鐵道技師新義州より歸任

## ●鑄方大佐の來龍

二十八日午前鑄方砲兵大佐鎭南浦より來龍したり

## ●八木主計正歸任

二十七日午後八時二分龍山着列車にて八木主計正歸任

## ●川口事務官出張

大分縣事務官川口彥治氏は二十七日釜山へ向け出發す

## ●向田部長の出張

向田警察部長は管內巡視の爲廿八日來仁川署を訪へり

## ●原田氏の出發期

元京城日報主筆原田豐次郎氏は七月一日出發歸東の筈

## ●村井記者の入京

元山每日新聞記者村井均氏廿七日入京三日月投宿せり

## 平壤通信 （二十七日發）

▲議員の選擧　既報の通り當民團議員七名の補欠選擧は一昨廿五日及昨廿六日の兩日に分ちて執行されたるが廿五日の分は本年十月迄の任期に屬するものにて其人數六名なるが當日の選擧は從來に比して甚だ振はず有權者總數六百四十八名に對し僅かに八十一名の投票者ありしに過ぎず而して其結果如左

四十四票 和田良助　四十一票 神谷廸　四十票 森本義高　三十六票 守田[illegible]　十三票 丸山理平　七票 一柳五郎

次に昨廿六日の分は其の任期明年十月迄のものにして一名の選擧なるが前日より稍活氣ある競爭あり投票總數百九票に上り結果は

七十三票（當選） 古庄仁太郎
三十票（落選） 小野藤三郎

▲昨夜の地震　昨廿六日午前一時二十五分より約二分間に亘る震動ありたるも極めて微震にして居留民何の事とて普通人の之れを知覺せるは極めて稀れなりき

▲赤痢病流行　先般來當地日本人間には赤痢病續々として發生し日々增加の模樣あり但し憂慮すべき程度にはあらず尚は腸窒扶斯も多少流行の兆あり

▲當地の大相撲　目下京城に在る常陸山梅ケ谷の一行は來る二十日より當地に於て二日間の興行を爲すべく前景氣頗るよく有志間には汽車賃を大割引せしめ沿線各地安東縣、鎭南浦等よりの觀客の意氣込みあり安東縣には本日勸誘員を特派する豫定にて場の設備も既に着手し居れるも擴張せしむる筈なり

## ▲治外法權▼

今度我政府が拓殖局を創立したに就いて外人は「ソレ日本が淺黃頭巾を脫いだぞ」と成に種々の評をやつて居る、成人は一列一隊に白人の土足に[illegible]足して居る者と心得て居つた[illegible]には我拓殖局が變に映ずるだ[illegible]し亞細亞人だからとて永遠に[illegible]の後塵を拜する爲に生れた譯[illegible]特に我大和民族が亞細亞大陸[illegible]占めるのは文明の進步に深き[illegible]するのだ、我拓殖局の創設は[illegible]同族救濟の爲だ、白人先生[illegible]しく傍觀すべしだ▲さは云へ[illegible]鐵道に鐵道院、滿、韓、樺太[illegible]爲に拓殖局はチト振ひ過ぎて[illegible]の感じがする、何も外人が猜[illegible]以て見る程に大したものでは[illegible]れ多い事だが英新帝ジヨヂ五[illegible]大酒呑に非ず亦賤婦と關係せ[illegible]非ずとの取消文みた樣なもの[illegible]新聞に載つて居る、之に因つ[illegible]と今や英國では新帝の素行が[illegible]題になつて居るものと見へる[illegible]素行をも不問にせぬ英國人は[illegible]にして同盟國民として頼母し[illegible]る▲警察と憲兵とが一ショに[illegible]め利益は幾らもあるだらうが[illegible]報告の二途に出でぬことだ[illegible]ピン事件の時の樣に一トツの[illegible]いて二ツの異なつた報告が[illegible]迚もツマリが付かぬ、當局[illegible]覺かけたのもツマリあの時[illegible]

## 墓地公定の急務

▽民團當事者に勸告す

六七年前迄は一個の出稼地たる觀ありし京城は近時其面目を一變し今は一見純然たる永住地の外觀、内容を備へ來れり電車も瓦斯も電氣も病院も寺院も教會も一として備はらざるものなし、然るに唯り墓地の劃定せられざるは何の故ぞや。五萬に近き居留民を有する當地大民團に一個の火葬場——半は崩れたる不完全なる一個の火葬場を有するのみにして一坪の公定墓地をも有せざるは大なる不用意として吾人の不名譽にあらずや、公園の設定も必要なり、道路の取り擴も又必要なり、然れども墓地の設定の必要なるが如く必要なるものはあらざるべし、貴下死んでも寺には行らぬ燒いて骨にして小包で送る、のは未だしも骨は瓶に入れて押入れの隅に鼠の糞に同居せしむるものすらあり、开以一は成すもの〻不心得に依るべしと雖も一分の責任は確に墓地を有せざる民團當事者の負はざる可らざる事なり、民族の發展とか何んとか大きな事を云ふ日本人は實際に於て骨を異境に埋むるの覺悟を有せざるものと見らば見らるべし、魂魄已に天に歸し、身は燒かる〻を覺悟しながら猶は白骨を故鄉の土に瘞むるを希ふ怯ならずんば痴なり、果して我在留民は然かく怯にして儒痴にして愚なりや、豈に必ずしも然らんや。骨を埋む故鄉の土に限らん到る處に青山ありとは先人の既に喝破したる所なり、日本男兒決して此の慨なきものにあらず、然れども埋むるの地を有せざるに於ては又如何ともする能はざるを奈何、墓地の設定は在留民に一個の覺悟を與ふるものとして重大なる價値あり、死の免る能はざる所以を知らしむるは直ちに生の輕んず可らざる所以と努力の尊重すべきを知らしむるに於て價値あるを知れ、況んや不日して龍山を合併する我京城居留民團——軈ては漢城府を包容する我居留民團當事者は公定墓地を劃定し日人をして京城の外國に非ざる所以を適切に知得せしむるの擧に出でんことを勸告するものである、而して其場所としては現在京龍接續地點に一ヶ所、東西兩大門外に各一個所を設定すべきの妥當なるを認む。

## 不埒なる質店の行爲

▽事實ならば容赦ならず

仁川花町二丁目居住の土木受負業松富助作と云ふは曩に衣類十三點を同地宮町二丁目の質屋上月ツヂ方に入質して金三十三圓餘を借受けしが其後本年二月十日右上月質店は類燒の災に罹りて全燒の悲運に遭遇したり然るに同店に於ては預りし質物は搬出するの猶豫なかりし爲め全部烏有に歸せりと云ひ不可抗力に依る損害賠償は此限りにあらずと多數の入質者に對し多大の損害を與へしが其內前記松富は羅災の際充分質物を搬出するの餘裕ありしにも拘はらず保險金欲しさの爲めか其かあらぬか消防小頭近藤源吉同副小頭土谷寅吉と云ふが逸早く類燒せんとする同家に飛込みて質物に手をかけ持出さんとするを殊更らに止め遂ひに燒失したるものなるに損害賠償を爲さゞるは不法行爲なりと岩田辯護士を代理人として仁川裁判所に質物損害要償の告訴を提起せしが尚ほ原告側の主張する處に依れば右質物は燒失せしにあらず隱匿せる疑ありと述べ居れど眞僞俄に判明すべくもあらねど其右上月は曩にも之れに似通ひし事件あり遂に公沙汰となりて二百圓餘の損害を賠償せし事實ある不埒なる質屋なれば之を聞きし誰一人惡樣に罵らざるはなく明卅日第二回の辯論ある筈なれば前回の如く傍聽者多かるべしと云ふ

## 家計を苦にして縊死

▽通信管理局員の妻女

大和町一丁目に昨二十八日午前六時四十分頃女の自殺者ありたり其顛末を記せんに自殺者は廣島縣沼隈郡藤江村當時大和町二丁目二百八十七番戶通信管理局雇員杉原忠次郎妻すゑ(三〇)にして杉原宅は構內溫突數戶を連ねたる內二棟を改造したる五疊敷二間に押入炊事場等あり夫忠次郎は要談の爲め隣家吉田某方へ行き要件濟み歸家せしに五疊敷の一室に顏を北に向け妻すゑが麻繩を以て縊死し苦悶の結果顏は膨脹し口邊に小量の泡沫を吐き暗紫色に變じ居るより吃驚仰天し悲鳴を揚げたるより附近の者は何事ならんと馳せ來りしに前記の有樣一方派出所に急報しければ南部署よりは監督巡査部長出張檢視せしが自殺の原因に付き忠次郎の申立に因ればすゑの鄉里廣島市臺家町米川八十吉宅は財政困難にして家族六人あてすゑは其家の五女米川の內は長男某が鄉里稅務署に奉職し月々得る給料を以て糊口を凌ぎ居りしに便りとす可き兄は事情に因り稅務署を免職せられ一家心痛し居るとの報に接するやすゑは發狂せん許り氣遣ひ煩悶の結果ヒステリーを起し夜も寢ず夫忠次郎は之を慰めつ〻ありしも遂に精神に異狀を生じ自殺を遂げし者ならんと

## 女振り

古城民長令姪　矢野みね子

みね子さんは美しいから泥峴街などで擦れ違ふことがあつても一寸見違へる、れ美しいから見違へるは聊か不明瞭だが高等女學校卒業後メッキリ落着が見へた爲である、先方さんから挨拶されて何方だつたか思ひ出せないで面喰ふ、併し斯う云ふ面喰ひ方は決して腹は立たぬ、拙者などは大に歡迎する、大分杵築の生れで本年十九歲、鄉里の小學校卒業後東京赤坂檜町の山脇房子女史經營の高等女學校に入學修業せられて居られたのを四十一年度中古城君が引き寄せられて當地の高等女學校に通學させられて居た、本年三月同校第二期の卒業生中優等で出られた、至極溫順な性質で品行殊に方正である地理と國語がれ好きで裁縫は最もれ好だ、卒業後も裁縫は熱心勉強して居らる〻が古城君の意見として日曜日毎に女學校の日直女教員の許へ通ふて實習せられつ〻ある、決して他の裁縫所などに通はれない夫れは多人數集合の場所では自然惡習に感染し易いと云ふにある、みね子さんの崇拜者は山脇房子先生だとか、目下は叔母かね子夫人に就いて家事の見習中である、古城君夫妻は先日も記した如く實子がないので養嗣子の治邦さんと同樣實子の如く鍾愛して御座るれ好なものは里芋のれ煮付け

## 李在明の控訴審

▽來る三十日開廷

兇漢李在明及其連類に關する控訴院公判は愈々明後三十日午前十時より裁判長補控訴院部長審理の下に開かる〻筈なり而して彼等が如何なる新事實の申立を爲すや豫知すべからざるも兎に角豫審に於ける搜索の結果擧證充分なれば如何なる申立あるも到底之を否認し或は第一審の基礎を薄弱ならしむるが如きは萬々是なかるべしといふ

●一八胴元の檢擧　旭町一丁目二百四番戶ペンキ塗職栗田富五郎(三四)は曩きに退韓處分受けし博徒の親分梅本藤吉の子分なるが曙町百十一番戶無職吉本幸吉(三二)明治町三丁目百六十六番戶大工三浦萬平(三九)黃金町秋山桑造內縁の妻長藤もり(三五)龍山若松町山本伊三郎方風早鶴吉(三四)等を子分としてチーハーと稱する賭博の胴元を爲しつ〻あるものにして本年三月十七日頃より吉本三浦長藤等を運送屋として使役し爾來持續的に爲し來り六月二十三日、吉本幸吉宅に於て勝負を爲しつ〻ある處を銅峴分署に檢擧せられ二十八日檢事局に送らる

●詐欺賭博犯處刑　長崎縣下縣郡嚴原字國分町百十二番地平民當時西部獨立門通三丁目高森卯一郎(五〇)廣島縣豐田郡財村字造賀七十三番戶平民蓬萊町四丁目辻川正夫(三〇)の二名が韓人中部鐘平坊寺洞十四統十一戶田在豐(一五)を手先きに使ひ詐欺賭博を爲し西部署に檢擧せられ檢事局に送られし事は當時報道せしが京城地方裁判所に於て審理中の處二十七日懲役各三ヶ月に

●賭博犯人の起訴　社會風紀を害する賭博は公然の秘密の如く各所に於て流行せるより其筋に於ては嚴重なる訓戒を爲しつ〻あるが佐賀縣人蓬萊町一丁目山下喜三郎(三九)は西大門外阿峴百四十四統五戶李吉安(二九)を通譯として水原方面に至り韓人を欺き三枚札と稱する賭博を爲し居りしを水原警察署に檢擧せられ京城地方裁判所菱谷檢事の係にて取調中の處廿八日起訴さる

●纛島に赤痢發生　纛島模範農場使用人靜岡縣興津町生れの伏見とき(二二)去二十三日赤痢に罹り目下治療中

●竊盜　花園町四番戶ノ一佐官職高田太一郎は折鞄一個(代一錢七十錢)及現金三圓五十錢置時計一個(代一圓五十錢)革製財布一(代一圓)糸製財布一(代二十錢)現金五十錢入り銀側兩蓋十八形懷中時計一(代八圓五十錢)を竊取せられし旨寧洞分遣所に屆出たりと

●酌婦の健康診斷　南部署管內料理飲食店酌婦仲居の健康診斷去る二十五日施行せしが百卅六名の內十六名の有毒者なりと

●奧村敏子の來城　大谷派本願寺婦人法話會本部幹事奧村敏子は仁川に於ける亡生母五百子刀自の建碑式に臨場を兼ね來韓中なりしが來る二十九日午前十一時四十二分南大門驛着入城三十日午後二時龍山榮町東本願寺に於て講話七月一日午後二時より南山本願寺に於て同樣講話あり同日午後三時半より同所に京城婦人法話會の招待會ある筈なり出席希望の向は會費金五十錢を添へ前日迄に申込まるべしとなり

## 大角力彙報

▽二日目勝負と四日目取組

二十八日(二日目)の景氣は素晴しきものにて入場者實に五千人と註せられたり重なる勝負左の如し

| 勝 | | 負 |
|---|---|---|
| 勢力 | よりきり | 國岩 |
| 國の濱 | いさみ | 小鳴門 |
| 刈藻川 | こはたわたり | 御所車 |
| 淺綠 | よりきり | 駒勇 |
| 國見野 | 分 | 玉ケ嶽 |
| 石山 | 預 | 佐賀海 |
| 中入 | | |
| 大蛇潟 | よりきり | 日本海 |
| 梅の花 | 預 | 紫雲龍 |
| 土州山 | おひこし | 近江ケ |
| 駒ケ嶽 | つりだし | 朝汐 |

| 勝 | | 負 |
|---|---|---|
| 若杉 | いさみ | 四賀峰 |
| 八ッ房 | ひつかけ | 玉柳 |
| 玉の川 | すくひなげ | 放岩 |
| | | 男島代 |
| 天王山 | よりきり | 淺綠 |
| 八甲山 | なげて | 雷ケ浦 |
| 後 | | |
| 黑瀨川 | 預 | 大湊 |
| 鳳 | うはて | 龍ケ崎 |
| 碇潟 | ちやう | 鏡川 |
| 國見山 | だつし | 八嶋山 |

●梅ケ谷と石川縣人會　▽翡翠樓上の盛宴

既報の如く加賀能登越中人會にては廿七日翡翠に於て懇親會を催ふし入城中の梅ケ谷黑瀨川大の川玉椿の四力士を歡迎の意味にて招待し盛宴を張りしが席上同人會より四關に對し物品を寄贈し歡を盡して散會したりと云ふ

●仁川大相撲前景氣　▽大阪商船會社の船賃割引

東京大相撲一行は京城打上後仁川に乘込み二日間各國居留地先埋立地の小屋に於て興行する筈なるが木戶錢は京城と同一大人三十錢同小人十五錢平土間大人五十錢小人半額棧敷割込大人一圓小人半額棧敷一間四人詰六圓の場代にて團體觀覽者には土間に限り廿人以上一割引五十人以上二割引百人以上三割引する由にて尚ほ大阪商船會社に於ては群山木浦方面よりの乘船觀覽者に限り二割引の特典を與ゆると云へば地方より入込む觀覽者も尠なからざるべく固より仁川人に於ても不景氣は物かは俗に所謂借金を質に置ひても此の好相撲を見退してはなるべきぞと力味居れば當日の盛觀はさこそならんと今より想像せらる因に仁川に於ける相撲事務所は仲町尾崎旅館を充て年寄濱風主として事務を執り勸進元は同町の相撲狂吉貴藤吉氏なりと云ふ

●壽座　同座二十八日番組左の如し一ご目上り(金平)ゆび寫し繪獅子の曲(金遊齋)常盤津浮世ぶし(小つま)掛萬(市馬)蚊軍(金勝)音曲手踊(金登喜)義士外傳直助(つゝき(花園遊)、曲藝(金治郎)[illegible]堂)うぬぼれ(金龜)大切新作喜劇[illegible]り同士

## 九州旅館の一時間

幕內力士の談話は吾紙とも記載せる一番幕下力士の希望と氣焰を聞くも一興と九州旅館に魚屋の由坊其他兩三者を訪ふ以下は其の斷片なり

▲常山の述懷　朝鮮へ來て東京の加も同じ所に生れた人に遭はふなんとは夢にも思ひませんでしたね懷かしいね眞實に懷しう御座すよ、春場所の本番附が十兩所から二三枚でしたから夏場所には關取格と綬言にまで云ふ程の嬉しさ奮發に馬力を掛けた、と初日の取組に足を挫いてドサ〱と陷落、ダガ私やア兵古垂ないね何うでも一度は關取と呼ばれなくつちや淺草ッ兒の面に關らア、馬道が眞正面に向いちやア歩行ねね、歩行ねねと云やア其の痛み所が今でも此れでさ……弱らせられたね此れせね癒りやア大將(常陸山)よりは強ねんだがなア、嘘だと思つたら一度割つて試て貰ねてね、ハヽヽ、、、橫綱は良い弟子を持つたもんでさハヽヽ、、、

◎時事俳評　千春

△時局と警察權委任
薰風や垣根まで來る滿へ汐

△韓國留學生の排日
我が儘に葦の伸びけり五月雨

△趣味多き經濟小言
筆先きでさしづや竹の植へ處

△相撲陪覽の官吏連
かみ殺す欠伸一つや合歡の花

△各關取連の韓國觀
岩かげに思ひ掛けなき清水かな

▲露西亞麵麭　とは今年夏場所の本番附序の口六枚目に附け出されたる對島洋の醜名なり彼は對州の產十二師團長の紹介にて一昨年常陸山の門下に入りしも脚氣症に罹り歸省し居たるなりとか彼れ身長實に六尺三寸大砲よりも高きこと更に一寸脚氣にさへ罹らざりしならば既に二段目に陞るべかりしなり併し今夏場所は勝放しの好成績なれば勉強次第にて三役力士として屬望せられ居れりと彼れの歩行振りが露西亞パン賣の夫れに似たりとてパンヤパンヤと呼ばる〻なり彼れは頗る夫れを氣に掛けれ止しよれ止しよと大きな圖體を引き摺つて賴み廻る容子更に珍也

▲淺綠の憤慨　彼れ良出羽庄內の產本番附にては二段目の中軸にあり本年二十三、十八歲の十月年寄立田川の周旋にて出羽海部屋に入り三十九年一月初土俵を勤む、同人曰く私も去年再檢査(徵兵)で一場所拔いたので殘念しました、一緒に初土俵を踏めたものが百三十九人有りましたが今日迄殘つたものは二十人かありませんよ皆辛棒が仕切れませんからだ、私なぞは有望の中ですよハヽヽハ『皆さんが八百長と云ふ事を言ひなさるが客さんの思ふ通り取組んだ者は儲けるものぢやない關取衆の方は私達の知つたことでないが二段目の此れからと云ふ出世相撲が八百長なんぞ取つてる暇はありませんや失れを何んだ同体に流れりやあ八百長引き分になりや八百長と何んでも八百長にされちや腹が立つ僕い力士になつて新聞社の先生方に文句が言たい』と本氣になつて食つて蒐る『淺綠關其樣に怒るもんぢやないよ……ね關取』と肩を叩けば忽ち恐縮して『早く眞正に關取に成りたいナア』と悄然、意氣愛すべき有望力士たり。

**今日の運勢**

●六月廿九日　舊五月廿二日　八●白友引乙丑危

△一白●守成に利あり諸事控へ目の事、旅行轉業始め開店婚礼に忌む
△二黑●勞して後効ありとす中絕不和の象あり
△三碧●旅行新事見合せの事家庭內紛爭の恐れあり
△四綠●諸事不得要領に了らん農林業に吉
△五黃●平靜の日なり職務上疎濡失念生じ易し
△六白●榮進の日大抵吉造船水利釀造水運に好良
△七赤●會心の日大抵吉婚談契約依囑に妙色情の害を戒しむ
△八白●諸事手控への事保證引受世話事を堅く禁ず
△九紫●開運日なり事業始め開店談議依囑委任尤も吉旅行に忌む

●天氣豫報　自廿八日午後六時　至廿九日午後六時

西の風晴

廿七日(華氏)　最高溫度　七六、六　最低溫度　五八、三

廣告

美術半襟帯締其他紐類各種

京城明治町一丁目 電話一千四百〇九番 ゑり徳商店

---

第八回洋牛輸入

當場は韓國牛種改良模範を以て任じ先年南大門外萬里峴上の高地を相し牧場を開き東西洋の學理と實驗とに徵し最も完全なる設備を施し純良粹なる各種の洋牛を輸入したる韓國斯業界の嚆矢なり爾來各位の御引立を辱し日増に隆盛に趣き感謝に不堪候

陸軍衛戍病院 大韓醫院 特定御用

消毒 純良 全乳

京城南大門外 荒井牧場 電話一〇五六番

江華島 第二牧場

今や悪暑に向ひ各位の御需用は増加の氣節と相成候に付遺憾なく御用命に應ぜんが爲め今回又々エアシヤ、ホルスターイン、ゼルシ等各種の純良洋牛數十頭を輸入致候處何れも此程無事着場致候間（其筋の御檢査濟）爾後倍舊の御引立御用命を仰度候敬具

其他種附の依頼に應候

---

●朝鮮唯一の土産夏季滋養●夏瘦の人は必ず飲め

賜東宮殿下御買上之榮 清國領事館御買上品 韓國京城博覽會褒狀受領

滋養 強壯 人參飴

世界第一等の滋養品 牛乳鷄卵に優る効數倍

元祖發賣元 京城本町二丁目 井口順生堂藥房

本品は滋養劑として東洋第一と稱せらるゝ朝鮮人參を以て精製したる物にて朝鮮唯一の御土產品なり本品は殊に夏季の强壯劑として頗る適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ

◎特約販賣店は京城、釜山、仁川、平壤、開城、龍山、鎭南浦、元山及各地有名藥店雜貨店に於てす最寄にて御買求を乞ふ

京城本町二丁目（電話一九九番） 井口大藥房

京城大阪賣店（本支） 亀屋　青木堂店

---

増築御披露

京城南大門通三丁目光宣門側（電話一三八二番）

御待合 紅葉

四方粹客樣方の御引立に預り手狹を感じ往々折角の御運びを御斷り申候等不本意千萬に有之候に付今般改築間數も増加殊に浴室の設備も致何時にても用意罷在申候間不相變御抂駕の程奉希上候

---

登録商標

天下一品 の

清酢 飛梅印

醸造元 尾道市 の 野間直兵衛

特約店 京城本町四丁目 前田商店 電話一三七番

同五丁目 大上商店 電話二五一番

---

資本金壹百萬圓（本社大阪東區備後町）

大阪 火災 海上運送 保険株式會社

京城代理店

官製煙草元賣捌店 京城本町四丁目 三共商會 電話四一三番

保險料は低廉にして極めて簡便に御契約可仕候

---

旅館

京城南山町三丁目

京城ホテル

電話長一二三番 四九二番

日本室和食

特等（三圓五十錢 壹圓五十錢）

一等（二圓五十錢 壹圓八十錢）

二等（二圓五十錢 壹圓六十錢）

三等（一圓五十錢 壹圓五十錢）

---

資本金 一千萬圓

積立金 五百四十萬圓

株式會社 第一銀行京城支店

電話一一番 六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町

支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戶、名古屋、四日市、下關、新大阪町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、

其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

---

移轉御披露

京城旭町一丁目小森材木店裏

御待合 住の家

電話六七六番

是迄の住の家は夏の待合としてチト鬱陶敷分けて日々に人目も繁き場所と相成候まゝ今度旭町一丁目小森材木店裏に新築の上移轉致し凡て夏向きに粹様方の御坐敷亦は夕暲の四疊半と心をこめし設備ぶり一度御來遊の上相變らず御ヒイキを願ひ亦人目を忍ぶ君樣方の裏道傳へは元住の家本門通り右の小路を鹽見質店前に出て右へ御曲りの上裏門よりと

あるじ白す

---

大 へ 黒

特約販賣自製

味噌醤油製造元 漬物問屋

京城本町五丁目

ビール 新茶 大賣出し

大上商店

（電話二五一番）

---

營業科目

和洋紙類　印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　防腐デシン　穀物食鹽　諸染料類

委託販賣

東京ランバード商會代理店

東京中外アスファルト株式會社代理店

東京千代田生命保險相互會社代理店

東京博文館發行書籍特約店

東京金港堂發行書籍特約

山口縣鹽合資會社食鹽特約

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）

出張所 東京京橋區南鍋町一丁目 東京電話新橋三六九二番

---

高等旅館

平壤大和町

浪花館

電話一三四番

---

無比勉强

かや わた

關戸蚊帳株式會社韓國代理店

呉服 太物 洋反 蒲團 調進

新案特許製綿韓國一手特約店

京城明治町一丁目

唐川商店

電話二六一番

---

明治廿年七月創立

東京火災 海上運送 保險株式會社

資本金一千萬圓 ● 事務所 京城南大門通二 電話一〇六

代理店 本町四 山口呉服店電話九番

---

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候

支店出張所 仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、

爲替取引先

日本 東京、京都、大阪、横濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、廣島、長崎、

韓國 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州、成興、

清國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、

其他 漢口、上海、

外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昻、

韓國銀行

---

東京生そば並に素人料理

右多少に拘はらず御注文次第直ちに調進可仕候

京城明治町一丁目

電話八三二番

まつば拜

---

京城光化門通

淺田洋服店

店主 大島専藏

（電話四百十三番）

---

金錢貸借 電話讓渡 土地家屋 老舗賣買 人事百般 其他

京城明治町一丁目勸商場前（電話一二九八）

周旋業

明治屋

---

民刑訴訟鑑定及書類の作成

登記證明查證諸願屆の代書

測量製圖設計

法律の質疑應答通信鑑定

事の大小難易を問はず依頼者の便益を圖り正廉確實迅速を旨とし凡て當事務所主責任を以て親切に其業務を取扱ふ

京城鐘路通り裁判所門前西入小路

電話一六八九番

安藤事務所

中央大學法學士 安藤和一

---

天下無敵高等紙卷

美術寫眞入煙草

品質良好香味佳良

原料精撰價格低廉

TSUKISEKAI

製造元 大石商會本店

發賣元 西大門前 大石商會出張所